



図書館 ⇄ 教室 つながる授業

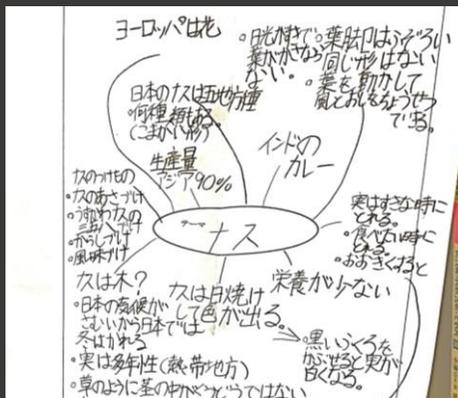


3年生理科のチョウを育てる活動とからめて『へんしん』桃山鈴子/福音館の読み聞かせがありました。ウラギンシジミというチョウのさなぎは、葉っぱにべたりとくっついているのですが、よく知っている他のチョウのさなぎとは違う形に、不思議そうに首をかしげる子どももいました。

飼育箱が置かれている3年教室前にも、チョウの本が置かれ、実体験と言葉・図がむすびつく学びとなりました。

5年生社会科の農業新聞作成では、事前学習として「あらまし読み」を行いました。ノンフィクションの本で行う「あらまし読み」は、本を読みながらその内容を整理し、それをペアの相手に説明することで本の概要をつかむ手法です。

高学年になると知識の本から遠ざかる児童が多いのですが「このやりかただと内容を理解しやすい」「知識の本も面白い」といった前向きな感想が聞かれました。



保護者の皆様へ「本がぬれたら」

先日、「水筒からこぼれたお茶で本がぬれてしまいました。」と謝りにくる児童がいました。気を付けていても、本を濡らしてしまったり、傷めてしまったりすることはありますが、こんなふうに正直に伝えてくれれば、本を修理してまた使うことができます。保護者の方からも破損箇所を教えていただくことがあります。そのままにせず、お知らせして下さることに感謝しています。

本がぬれた時

乾かないようにビニール袋などに入れ、早めに図書館に持ってこさせてください。濡れたページが乾ききってしまうと、紙が波打って元に戻らなくなってしまいます。

本が壊れた時

ご家庭でなおさず、返却時に伝えるようにさせてください。専用のテープなどを使いこちらで修理をします。

クイズ この人だあれ？

7月3日、みなさんの生活でよく使われている「あるもの」が変わります。その「あるもの」に関わっている下の4人の名前はなんでしょう。

クイズの答えを図書館に書きにきてください。
1~3年生は「あるもの」がなにかを、4~6年生は4人の名前を答えましょう。正解した人にはプレゼントがあります！

①



■埼玉県の裕福な農家の子どもとして生まれた。
■将軍徳川慶喜の弟のおともをして、1867年のフランス万国博覧会を見た。
■500以上の企業とかかわりを持つ「日本の資本主義の父」。

②



■小さい頃はやんちゃで、両親は医者になることをすすめていたが、本人は武士になりたかった。
■顕微鏡で見た細胞に感動し、微生物に興味を持った。
■1901年の第一回ノーベル生理学・医学賞の候補者。

③



■父のすすめで、わずか6歳で日本初の女子留学生となった。
■日本の女性が、男性と協同して対等に力を発揮できるようになることを目指した教育者。
■ナイチンゲールにもらった花束を押し花にして、大切にしていた。

④



■自分が発行する新聞『時事新報』の中で①の生き方をほめている。
■研究所の場所が決まらず困っていた②のために、自分の土地を分けてあげた。
■③のお父さんと一緒にアメリカへ行ったことがある。

国立印刷局のウェブサイトでは、古いお札の図柄や、お札の製造工程を見ることができます。
<https://www.npb.go.jp/index.html>

